

●この薬についてのお問い合わせ先は？

この薬についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い申し上げます。

佐藤製薬株式会社 お客様相談窓口

電話 03-5412-7393

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独) 医薬品医療機器総合機構

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)

製造販売元

佐藤製薬株式会社

東京都港区元赤坂1丁目5番27号

ナゾネックスはN.V.Organonの登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されています。

季節性アレルギー専用点鼻薬

要指導医薬品

ナゾネックス®点鼻薬
<季節性アレルギー専用>

この薬は季節性アレルギー性鼻炎に対して使用するものです。1週間位使用しても症状の改善がみられない場合は使用を中止し、添付文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください。また、他のステロイド点鼻薬の使用期間も合わせて、1年間に3ヵ月を超えて使用しないでください。

この使用者向け情報提供資料は、ご使用者の皆様に、要指導医薬品の正しい理解と、副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この薬を使用するときに特に知りたいことをわかりやすく記載しています。

使用後に発現した症状がこの薬による副作用と考えられる場合は、直ちに医師又は薬剤師にご相談ください。

また、ご不明な点などございましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にご相談ください。

この薬は季節性アレルギー性鼻炎に対して使用するものです。

●季節性アレルギー性鼻炎とは？

スギやヒノキなどの花粉が原因で生じるアレルギーを季節性アレルギー性鼻炎又は花粉症といいます。毎年、同じ季節に鼻づまり、鼻みず、くしゃみなどの鼻症状や充血などの目の症状があらわれます。

花粉症による鼻づまり、鼻みず、くしゃみには、内服薬や点鼻薬が用いられています。ステロイド点鼻薬は、花粉症の初期から症状の緩和に用いられています。

●この薬の効果は？

この薬は、合成副腎皮質ステロイドであるモメタゾンフランカルボン酸エステル水和物を含有する季節性アレルギー専用の鼻炎用点鼻薬です。花粉による季節性アレルギーの諸症状を1日1回の使用で緩和します。この薬は、季節性アレルギーの鼻づまり、鼻みず（鼻汁過多）、くしゃみを緩和します。

この薬を1週間位使用しても症状の改善がみられない場合は使用を中止し、添付文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください。

この薬は、他のステロイド点鼻薬の使用期間も合わせて、1年間に3ヵ月を超えて使用しないでください。

なお、スギやブタクサなど異なる花粉による症状であっても1年間に合計3ヵ月を超えて使用できません。

●この薬を使用する前に、確認すべきことは？

1 次の人は使用しないでください

(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人は、同じ症状を発現するおそれがあります。

(2) 15歳未満の小児。

本剤は、成人（15歳以上）を対象としています。

(3) 妊婦又は妊娠していると思われる人。

妊娠中の安全性は確立されていません。

(4) 鼻腔内に化膿（膿（うみ）がたまり、痛みやはれを伴う）、潰瘍、外傷がある人。鼻の手術部位が完治していない人。

これらの症状を悪化させるおそれがあります。

(5) 次の診断を受けた人。

全身の真菌症¹⁾、結核性疾患¹⁾、感染症¹⁾、眼の単純ヘルペス¹⁾、反復性鼻出血²⁾

1) 副腎皮質ステロイド剤は、一般的に強い抗炎症作用や免疫抑制作用により生体の感染防御機能を低下させるため、本剤の使用により症状を悪化させるおそれがあります。

2) 副腎皮質ステロイド剤は、傷の治りを遅くする作用があるため、本剤の使用により症状を悪化させるおそれがあります。

(6) ステロイド点鼻薬を過去1年間のうち3ヵ月以上使用した人。

本剤は、他のステロイド点鼻薬の使用期間も合わせて、1年間に3ヵ月を超えて使用できません。

2 次の人は使用前に医師又は薬剤師にご相談ください

(1) 医師の治療を受けている人。

本剤の成分が治療中の疾患に影響を及ぼしたり、医師から処方されている薬との重複投与や相互作用を引き起こすおそれがあります。

(2) 授乳中のの人。

動物実験で乳汁中に移行することが報告されています。なお、ヒトに点鼻投与した時の有効成分の全身への移行は極めて低いため、問題になる可能性は低いと考えられます。

(3) 高齢者。

一般に高齢者は生理機能が低下しているため、作用の増強を引き起こすおそれがあります。

(4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

過去に薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人は、アレルギーを起こした薬や類似する薬の使用により同じ症状を発現するおそれがあります。

(5) 次の症状のある人。

頭・額・頬などの痛み、黄色や緑色の鼻汁ができる（感染性副鼻腔炎）、鼻のまわりが重苦しい、少量の粘液性又は黄色や緑色の鼻汁ができる（肥厚性鼻炎）、鼻づまり、鼻声、鼻の奥の異物感など（鼻たけ（鼻ポリープ））

感染性副鼻腔炎の症状のある人は、本剤の使用により症状を悪化させるおそれがあります。
また、肥厚性鼻炎や鼻たけ（鼻ポリープ）のある人は、本剤が鼻腔内の患部に到達しにくい可能性や本剤が鼻粘膜から吸収されにくくなる可能性があります。

(6) 減感作療法等のアレルギー治療を受けている人。

本剤や減感作療法、他の薬剤の効果に影響を及ぼすおそれがあります。

(7) 長期又は大量の全身性ステロイド療法を受けている人。

本剤又は全身性ステロイド療法の作用の増強を引き起こすおそれがあります。

(8) 季節性アレルギーによる症状か他の原因による症状かはっきりしない人。

鼻づまり、鼻みす及びくしゃみの症状は、季節性アレルギーの他に、通年性アレルギー、副鼻腔炎、感冒、薬剤等により発現する場合があり、本剤の使用により疾患の発見や治療の開始が遅れる可能性があります。

●この薬の使い方は？

1 用法・用量について

次の量を左右の鼻腔内に噴霧してください。

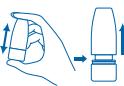
年齢	1回使用量	1日使用回数
成人（15歳以上）	左右の鼻腔内にそれぞれ2噴霧ずつ	1回
15歳未満	使用しないでください。	

- ・1年間に3ヵ月を超えて使用しないでください。
- ・異なる花粉に起因する症状であっても1年間に合計3ヵ月を超えて使用できません。

用法・用量に関する注意

- (1) 本剤は、モメタゾンフランカルボン酸エステル水和物（ステロイド）を配合していますので、過量に使用したり、間違った使用方法で使用すると、副作用が起こりやすくなる場合がありますので、定められた用法・用量を厳守してください。
- (2) 点鼻用にのみ使用してください。
- (3) 使用時に味がした場合には、口をゆすいでください。

2 使用方法について

- 1  鼻をかんで、鼻の通りをよくしてください。
- 2  使用する前に容器を上下によく振って、キャップをまっすぐ上に引き抜いてください。
(キャップはひねらないでください。)
- 3  容器をしっかりと持ってください。
(初めて使用するときは、空打ちを10回程度行い、液が霧状になったことを確認してから使用してください。)
- 4  頭をうつむき加減にし、ノズルの先を鼻腔に入れ、左右の鼻腔に1回ずつ噴霧してください。

- 5  薬が奥まで行きわたるように、鼻から息を吸って口から吐いてください。
- 6  もう一度、左右の鼻腔に1回ずつ噴霧してください。
- 7  薬が奥まで行きわたるように、鼻から息を吸って口から吐いてください。
- 8  使用した後は容器を清潔に保つため、鼻に接する部分をふいてから、キャップをしてください。

- ・ 使用する前に容器を上下によく振って、キャップをまっすぐ上に引き抜いてください。
- ・ 容器の先が鼻汁などに触れると、薬液が汚染されることがありますので注意してください。
- ・ ノズルが鼻中隔^{*}に向かないよう、鼻腔内にまっすぐ入れて噴霧してください。特に右利きの方では右の鼻中隔に、左利きの方は左の鼻中隔に向きやすいため注意してください。
※鼻中隔：鼻の穴の中にある鼻腔を左右に仕切る隔壁
- ・ ノズルの先端を針などで突くのは、折れたとき大変危険ですので、絶対におやめください。

鼻の構造図



3 使用時期について

1日のうち、いつ使用しても構いませんが、使い忘れを防ぐため毎日決まった時間に使用することをおすすめします。

4 使用し忘れたときの対応について

気がついたときに、できるだけ早く使用してください。ただし、次に使用する時間が近い場合は1回分をとばして、次の使用する時間に1回分を使用し、決して2回分を一度に使用したり、1日に2回使用しないでください。

5 多く使用（過量使用）したときの対応について

異常を感じたら、添付文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください。

●この薬の使用中に気をつけなければ ならないことは？

1 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに使用を中止し、添付文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください。

関係部位	症 状
鼻	刺激感、かゆみ、乾燥感、疼痛、発赤、不快感、鼻出血、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、嗅覚異常、鼻の中のかさぶた、灼熱感
のど	刺激感、疼痛、不快感、乾燥、はれ
皮膚	発疹
精神神経系	頭痛、倦怠感
呼吸器	せき
目	眼圧上昇（眼痛、見えにくい、頭痛などの症状を伴う）、かすみ、視力低下、物が歪んで見える
その他	味覚異常

鼻出血は鼻を強くかんだ場合などにも起こりますが、たびたび鼻出血が起きたり、鼻の中にかさぶたができる場合には、鼻中隔穿孔に進行する可能性もありますので、直ちに使用を中止し、医師の診療を受けてください。
※鼻中隔穿孔：鼻の中にある鼻腔を左右に仕切る隔壁に穴が開く状態

本剤と同様の成分を含む点鼻薬において、副作用が報告されています。

2 使用後、頭・額・頬などの痛み、黄色や緑色の鼻汁などがあらわれた場合は直ちに使用を中止し、添付文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください（他の疾患が併発していることがあります）

感染性副鼻腔炎等の疾患が併発している可能性があるため、これらの症状があらわれた場合は直ちに使用を中止する必要があります。

3 1週間位使用しても症状の改善がみられない場合は使用を中止し、添付文書を持って医師又は薬剤師にご相談ください

1週間位使用しても症状の改善がみられない場合は、他の疾患や本剤では対応できない症状の可能性があります。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

まれに重篤なショック症状が発現するおそれがあります。

- 4 本剤は、他のステロイド点鼻薬の使用期間も合わせて、1年間に3ヵ月を超えて使用しないでください（3ヵ月を超えた使用が必要な場合には、他の疾患の可能性がありますので耳鼻咽喉科専門医にご相談ください）**

3ヵ月を超えた使用が必要な場合は、通年性アレルギー性鼻炎、血管運動性鼻炎、副鼻腔炎など他の疾患の可能性があります。

なお、異なる花粉による症状であっても1年間に合計3ヵ月を超えて使用できません。

例) 本年2月から4月までの3ヵ月間を使用した場合、翌年の1月まで本剤を使用できません。

本年												翌年	
2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		
本剤を3ヵ月間使用												本剤を使用できません	

例) 本年11月から翌年1月までの3ヵ月間を使用した場合、翌年の10月まで本剤を使用できません。

本年												翌年	
11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
本剤を3ヵ月間使用												本剤を使用できません	

例) 本年3月から4月までの2ヵ月間と9月の1ヵ月間を使用した場合、翌年の3月から使用が開始可能となります。

本年												翌年	
3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
本剤を使用						本剤を使用						本剤を使用できません	本剤を使用可能

- 5 本剤と他のステロイド点鼻薬を併用しないでください。ただし、医師から処方された場合は、その指示に従ってください**

本剤と他のステロイド点鼻薬の併用により作用の増強を引き起こすおそれがあります。

●この薬に含まれているのは？

成分・分量	100 g 中 モメタゾンフランカルボン酸エステル水和物 52 mg (モメタゾンフランカルボン酸エステルとして 50 mg)
-------	---

添加物として、ベンザルコニウム塩化物液、ポリソルベート80、結晶セルロース・カルメロースナトリウム、濃グリセリン、pH調節剤を含有します。

●この薬の保管方法は？

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所にキャップをして保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- 他の人と共用しないでください。
- 使用期限をすぎた製品は、使用しないでください。また使用期限内であっても、開封後はなるべく早く使用してください。